



多様な性と生

～「セクシュアルマイノリティと 親子のかかわり」～

講師：真木 柁鷹氏「性と人権ネットワークESTO」代表

セクシュアルマイノリティに限らず、「人権」の中核にはマイノリティの立ち位置があるのではないのでしょうか。

当事者親子の交流会を立ち上げ、多様な性を生きる人々のサポートを続けてきている講師から、共生・支援のありかた、そして親と子の交流についておききしてみませんか！

日時：平成29年5月19日（金）

午後6時～8時（5時半開場）

場所：関戸公民館 第3会議室

（聖蹟桜ヶ丘駅前）

ヴィータ・コミュニネ8F

定員：30人（申し込み先着順）対象 どなたでも

保育：4人（1歳以上未就学児対象。5月11日（木）まで
申し込み先着順。おやつ代など1人100円）



会場地図



【プロフィール】

まさき まさたか氏

秋田県出身、認定心理士。1998年に立ち上げた多様な性を生きる人々のサポートのための非営利団体「性と人権ネットワークESTO」代表。

幼少時より自覚する性別が“女の子”でないことに悩みながら女性として生きることを模索するが、20歳を過ぎた頃より心理的ストレスが身体へのストレスになって表れ、月経前症候群を発症。1997年に埼玉医大の答申で、“性同一性障害”を知り、男性ホルモンによる治療を選択。トランスジェンダー男性としての生活をスタートする

※ セクシュアルマイノリティ
（性的少数者）



うけつけ申し込み開始：5月8日（月）から

※申し込み・問合せ先 多摩市立TAMA女性センター（ヴィータ・コミュニネ7F）

TEL：042-355-2110 FAX：042-339-0491

（第1・3月曜日、祝日を除く9時～17時）